

令和4年度事業報告

概要

令和4年度においても全国的に新型コロナウイルス感染症の発生は続き、宮城県内でも期間的に会議、各種イベントの中止・縮小などがありましたが、当社の事業につきましては、一部事業で数年ぶりに再開することができ、次年度以降の事業実施の弾みとすることが出来ました。

農地の利用集積促進関係では、農地の集積・集約化を図るべく、平成26年度から宮城県農地中間管理機構であるみやぎ農業振興公社と業務委託契約を締結し、農地中間管理事業と従前からの農地利用集積円滑化事業と並行して推進してきましたが、令和2年4月の法改正により農地中間管理事業に一本化されたため、農地中間管理事業を主体に活動しています。令和4年3月末の累計面積は、農地利用集積円滑化事業が603ha（前年比169ha減）、農地中間管理事業が989ha（前年比154ha増）となりました。両者の合計で1,592ha（前年比15ha減）になっています。また、担い手の農地利用集積状況は、令和4年3月末で集積率55.3%（前年52%）となっています。

地域農業戦略の調査・研究及びシンクタンク機能に関する事業では、農業振興公社だよりの発行のほか、ホームページによる情報発信を行いました。更なる発信力強化のために新たにホームページを改修しましたので、角田市農業の情報発信や新規就農対策へ活用してまいります。

農業経営改善支援関係では、農業経営改善計画（認定農業者の申請）の作成支援・審査、角田市農業青色申告会活動の支援に加え、インボイス制度についての研修会を実施し、農業経営改善の支援を行いました。

農業人材育成関係では、あぶくま農学校関係で、角田の次代を担う若い人たちの育成の場としてきた「風の塾」や新規就農者対策として開催してきた「土の塾」を、令和元年度以来、3年ぶりに行うことが出来ました。また、「農業経営実践塾」につきましては、「出前塾」として参加していた目黒区でのイベントが縮小となり、残念ながら前年度に引き続き中止となりました。

新規就農者の確保対策関係では、令和3年度に実施した先進地の視察や角田市の現状を把握するための生産者へのアンケート結果を基に農業研修についての先進地視察や生産者団体とこれからの事業承継についての話し合いをもちました。また、角田市地域おこし協力隊の活動支援団体として引き続き、農業の振興に関する活動を行う地域おこし協力隊員の活動を支援しました。

都市消費者等交流事業では、友好都市である目黒区との結びつきを考慮し、目黒区との交流を重点的に取り組んできました。以前行われていた目黒区の小学校が学校行事として市内の小学校との農村交流体験は未だ実現していませんが、目黒区内の交流実行委員会が学区内の小学生を募集して、田植え、稲刈りの時期に来角し交流が行われております。令和3年度はコロナ禍のため、直接の交流は行われませんでした。令和4年度は、各地区で久しぶりに目黒区内の小学生児童を受け入れ、農業体験学習を実施することができ、地元小学生をはじめとした各地区の市民と目黒区の小学生との間で交流が持たれました。

そのほか「特別会員事業」や目黒区内での「大岡山西住区販売イベント」を通して、角田の農産物を紹介したほか、「みどりの交流事業」として8種類1,100本の苗木を供給しました。

以上、令和4年度の主な事業活動の概要についてご報告いたしました。このほか、計画に基づき実施した各事業の詳細は以下のとおりです。

1. 地域農業戦略の調査・研究及びシンクタンク機能に関する事業

【地域農業戦略の調査・研究】

自立農業者の育成、ブランド構築のための活動を支援した。

■自立した農業経営体の育成とあぶくま農学校ブランドづくりの展開

自立した農業経営者の育成には、マーケティングを踏まえた顧客志向の農業経営を展開することが必要であるとの視点から実践塾等の事業展開を行う計画であったが、新型コロナの影響により実施できなかった。消費者からの評価を高め信頼を得るため「あぶくま農学校ブランド」農畜産物の販売やPRを行った（後述5の事業を参照）。（ブランド認定使用者は現在25名。）

【シンクタンク機能に関する事業】

インターネット等を用いて、公社の運営状況や角田の農畜産物の情報を発信した。

■ホームページの更新及び改修

角田市の農業の情報発信のため、掲載内容を逐次更新し、公社会員、消費者等に広くアピールした。（令和5年2月～令和5年3月のアクセス数 304件、1日平均5.1件）

また、更なる情報発信と新規就農対策で活用するため、ホームページの改修を行いました。

■農業振興公社だよりの発行

令和4年度は2回発行し、公社事業の実施状況やお知らせ等の情報提供に努めた。

- ① 第47号（令和4年7月1日発行） ②第48号（令和5年1月1日発行）

2. 農地の利用集積促進に関する事業

担い手農家や農業法人の規模拡大、農地の集団化等を円滑に進めるため、農地集積促進員（農業委員（14名）、農地利用最適化推進委員（17名）計31名）と連携を図りながら、また、人・農地プラン地域検討会に参画して、利用調整や集積促進を行った。

■公社流動化担当者、農地集積促進員の活動

【農地集積に関する取扱い件数状況】

単位：件

| 事業 | 件数 合 計 | 内 訳 | | | |
|--------|-----------|-----|-----|-----|-----|
| | | 新 規 | 再設定 | 解約 | 変 更 |
| 円滑化事業 | 306 | — | — | 255 | 51 |
| 中間管理事業 | 461 | 380 | 6 | 34 | 41 |
| 計 | 767 | 380 | 6 | 289 | 92 |

■農地利用集積円滑化事業

【参考：年次別面積（純増分）の推移】

| 年 次 | 年次別面積 | 累計面積 | 備 考 |
|--------|-------|-------|-----------|
| 平成12年度 | 140ha | 140ha | 合理化法人資格取得 |
| 13年度 | 89ha | 229ha | |
| 14年度 | 71ha | 300ha | |
| 15年度 | 65ha | 365ha | |
| 16年度 | 56ha | 421ha | |
| 17年度 | 76ha | 497ha | |
| 18年度 | 121ha | 618ha | |
| 19年度 | 77ha | 695ha | |
| 20年度 | 172ha | 867ha | |
| 21年度 | 24ha | 891ha | |

| | | | |
|-------|--------|---------|-----------------------|
| 22年度 | 13ha | 904ha | 農地利用集積円滑化団体承認 |
| 23年度 | 59ha | 964ha | |
| 24年度 | 68ha | 1,032ha | |
| 25年度 | 76ha | 1,109ha | |
| 26年度 | 39ha | 1,148ha | 農地中間管理事業業務受託開始 |
| 27年度 | 12ha | 1,160ha | |
| 28年度 | 49ha | 1,209ha | |
| 29年度 | 36ha | 1,245ha | |
| 30年度 | △91ha | 1,154ha | 西根担い手農地中間管理事業への変更 |
| 31年度 | △16ha | 1,138ha | 農地利用集積円滑化事業 2.3.31 終了 |
| 令和2年度 | △143ha | 995ha | |
| 3年度 | △223ha | 772ha | 枝野地区農地中間管理事業へ一括承継 |
| 4年度 | △169ha | 603ha | |

■農地中間管理事業

宮城県農地中間管理機構（公益社団法人みやぎ農業振興公社）と平成26年度から業務委託契約を毎年締結し、農地の出し手の掘り起こし、受け手（担い手）とのマッチング、農地データ入力、手続きに係る各種書類の作成・整備等の業務を行った。

【農用地の賃貸借事業の令和4年度計画と実績】

| 区 分 | 機構借り入れ | | 機構貸し付け | |
|-----|--------|---------|--------|---------|
| | 件数 | 面積 (ha) | 件数 | 面積 (ha) |
| 計 画 | 400 | 150 | 250 | 150 |
| 実 績 | 386 | 154 | 386 | 154 |

※農用地利用集積計画（機構借り入れ）の年度内公告分で計上

【参考：年次別面積（純増分）の推移】

| 年 次 | 年次別面積 | 累計面積 | 備 考 |
|--------|-------|-------|-----|
| 平成26年度 | 64ha | 64ha | |
| 27年度 | 132ha | 196ha | |
| 28年度 | 88ha | 284ha | |
| 29年度 | 36ha | 320ha | |
| 30年度 | 149ha | 469ha | |
| 31年度 | 46ha | 515ha | |
| 令和2年度 | 112ha | 627ha | |
| 3年度 | 208ha | 835ha | |
| 4年度 | 154ha | 989ha | |

【参考：公社の仲介面積内訳（令和5年3月末現在）】

| 事 業 名 | 面 積 | うち田 | うち畑 |
|-------------|---------|---------|------|
| 農地利用集積円滑化事業 | 603ha | 562ha | 41ha |
| 農地中間管理事業 | 989ha | 949ha | 40ha |
| 合 計 | 1,592ha | 1,511ha | 81ha |

【参考：担い手の農地利用集積状況（令和5年3月末現在）】

単位：ha

| 担い手の区分 | 経営体数 | 計 | 自己所有 | | 借入地 | | 特定農作業受託 | |
|-----------|------|----------|--------|--------|----------|----------|---------|--------|
| | | | うち田 | うち田 | うち田 | うち田 | | |
| 認定農業者 | 170 | 2,243.04 | 377.17 | 282.71 | 1,765.97 | 1,649.22 | 99.91 | 99.91 |
| 他市町認定農業者 | 2 | 13.41 | 8.38 | 2.72 | 5.03 | 3.73 | | |
| 認定新規就農者 | 8 | 108.45 | 0.26 | 0.26 | 107.24 | 100.42 | 0.95 | 0.95 |
| 基本構想水準到達者 | 4 | 26.20 | 9.19 | 3.43 | 16.82 | 15.49 | 0.19 | 0.19 |
| 集落営農組織 | 5 | 41.37 | | | | | 41.37 | 41.37 |
| 計 | 189 | 2,432.47 | 395 | 289.12 | 1,895.06 | 1,768.86 | 142.42 | 142.42 |

※認定新規就農者：基盤法第14条の4第1項に基づき、市町村から青年等就農計画の認定を受けた経営体

※基本構想水準到達者：農業経営改善計画の終期を迎えた認定農業者のうち、再認定を受けなかったものの、従前の経営面積を維持又は拡大している経営体

※集落営農組織：複数の農業者より構成される農作業受託組織であって、組織の規約を定め、対象作物の生産、販売について共同販売経理を行っている任意組織

担い手への集積率

| 角田市 耕地面積 | 令和3年度末 集積面積 | 集積率 | 令和4年度末 集積面積 | 集積率 |
|-------------|----------------|-------|----------------|-------|
| 4,410ha | 2,294ha | 52.0% | 2,432ha | 55.3% |

○平成29年度までは、角田市独自の「認定農業者等への利用集積状況」を掲載していたが、平成30年度からは国が全国的に集計している「担い手の農地集積状況調査」を掲載している。

○角田市耕地面積は、農林水産省統計の令和4年の数字である。

3. 農業経営改善支援事業

角田市基本構想に掲げる農業経営体の育成を図るため、農業経営の相談活動、経営改善計画書の作成支援、認定農業者の経営改善を支援した。

また、簿記記帳の推進を図り、青色申告への移行を推進したほか、インボイス制度の研修会を実施し、制度の周知を図った。

■経営改善活動実績

| 区 分 | 実 績 | | | |
|-----------------------|-------|-------------------|----------|----------------------|
| | 回数等 | 開催年月日 | 参加数 | 内 容 |
| 経営改善計画認定制度 説明・認定更新 | 戸別訪問等 | 4. 4. 1～5. 3. 31 | 延べ 25 人 | 認定農業者掘り起こし・経営相談等 |
| パソコン農業簿記定例会 | 22 回 | 4. 11. 1～5. 2. 21 | 延べ 161 人 | 農業青色申告会 (会員 73 名) |
| 新規就農者支援活動 | 2 件 | 4. 4. 1～5. 3. 31 | 延べ 5 人 | 青年等就農計画作成 相談等 |

■経営改善相談

| 相 談 内 容 | 税 務 | 金 融 | 認 定 制 度 | 労 務 管 理 | 社 会 保 険 | マーケテ ィング | その他 |
|------------|------------|------------|------------|------------|------------|-------------|-----------|
| 件 数 | 0 | 0 | 25 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 対 応 方 法 | 税制度の 案内 | 制度資金 案内 | 認定相談 案内 | 問題点の 把握 | 問題点の 把握 | 問題点の 把握 | パソコン 等 |

■農業経営改善推進会議の開催

- ・令和 4 年 5 月 31 日 農業経営改善計画の審査 新規 3 件 再認定 3 件 計画変更 1 件
経営移譲 1 件
- ・書面議決 農業経営改善計画の審査 新規 2 件 計画変更 1 件
- ・令和 5 年 1 月 16 日 農業経営改善計画の審査 再認定 4 件 計画変更 2 件
- ・令和 5 年 3 月 23 日 農業経営改善計画の審査 新規 3 件

【参考：認定農業者の状況】

- ・令和 4 年度末の認定農業者 179 人（平成 3 年度末の認定農業者 172 人）
内訳：個人 158 人（男 154 人・女 4 人）、法人 20、共同 1
うち県認定：個人 2 人（男 2 人）、法人 2

■農業青色申告会の支援

①相談及び指導

- ・期間：令和 4 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日
- ・回数：定例会 22 回、個人入力日 6 回、個別相談及び指導 10 回
- ・内容：データ年度更新・入力・決算処理、税務研修会、e-Tax 代理送信（所得税・消費税）申告
- ・参加人員：定例会 161 人・個別指導 10 人・個人入力日 0 人・計 171 人
- ・税理士代理送信 57 人・個人送信 0 人・計 57 人（会員家族 17 名分含む）

②簿記ソフト購入支援

- ・購入助成 4 名 105,600 円（対象簿記ソフト：ソリマチ農業簿記 Ver. 11 26,400 円）

■農業簿記研修会の開催

簿記記帳を普及し経営改善につなげることを目的に、角田地域担い手育成総合支援協議会事業と連携し簿記ソフト操作研修会を開催した。

- ・令和 4 年 12 月 16 日（金）農業簿記手順説明会 15 名参加
- ・令和 5 年 1 月 25 日（水）ソリマチ農業簿記操作研修会（決算・確定申告書作成編）15 名参加

■インボイス制度研修会の開催

令和5年度より開始するインボイス制度についての研修会を実施し、制度の周知を図った。

- ・令和4年8月4日(木)・令和4年8月5日(金)
インボイス制度研修会(角田市農業青色申告会員) 21名参加
- ・令和4年12月2日(金) インボイス制度研修会(市内農業者) 46名参加

4. 農業人材育成に関する事業

令和3年度から新規就農者の確保のために、公社が主体となり就農者の確保に向けた支援を行うという目標を設定したことから、そのシステムづくりや推進方法等の検討のため、第三者承継についての打合せなどを農業者と行った。

また、亙理郡農業振興公社を訪問し、農業研修事業についての視察を実施したほか、情報発信力を強化すべくホームページの改修を行なったので、今後の農業事情や新規就農者向けの情報の積極的な発信へと繋げたい。

あぶくま農学校運営委員会は前年に続き中止となったものの、あぶくま農学校の「土の塾」では、1名ではあったが令和元年度以来となる受講生の受入れをすることができた。また、経営能力と経営者意識の向上を図るための「風の塾」では、若手農業経営者の担い手サミットの参加支援を行った。

しかし、農業経営実践塾で実施する「出前塾」に関しては、コロナ禍のため目黒区側でイベントの縮小があり参加できず中止となった。

【新規就農者支援事業】

■新規就農者確保対策関係

- ・先進地視察：令和4年11月1日(火) (一社) 亙理郡農業振興公社
内容：亙理イチゴファームで実施している農業研修事業等について

■土の塾

令和4年8月25日～8月28日 参加者1名(畜産)

【農業人材育成に関する事業】

■あぶくま農学校運営委員会

中止

■農業経営実践塾(出前塾)

中止

■若手農業者育成研修会(『風の塾』)

角田市農業経営者会議や角田地域担い手育成総合支援協議会と共催し、若手農業経営者らを対象として全国担い手サミット、みやぎ農業担い手サミットの参加案内を通知、取りまとめをするとともに、参加者に対しては会費の支援も併せて実施した。

- ・全国担い手サミット：令和4年10月20日(木)～21日(金) 福井県(不参加)
- ・みやぎ農業担い手サミット：令和5年2月6日(月) 松島 大観荘 1名参加

■角田市農業経営者会議活動の連携・支援

角田市農業経営者会議の主催で開催した次の事業を支援した。

- ・市長との農政懇談会：令和4年12月2日(金) 仙南シンケンファクトリーセミナールーム
- ・視察研修会：令和5年3月7日(火)～令和5年3月8日(水)
内容：スマート農業化に向けての最新農業機械の情報収集
国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 埼玉県さいたま市
- ・講演会：令和5年3月20日(月) 演題：将来に向けて考える人材採用・育成・組織づくり

■角田地域担い手育成総合支援協議会活動の連携・支援

角田地域担い手育成総合支援協議会が「元気のできるみやぎの担い手育成・確保交付金」を活用し、角田市農業経営者会議と共催で実施した諸事業（研修会、講演会、担い手交流等）に対し、公社も連携し、支援を行った。

■角田市地域おこし協力隊員活動支援事業

令和4年1月1日から角田市地域おこし協力隊員に委嘱された「農業の振興に関する活動」を行う隊員を公社の非常勤職員として受け入れ、その活動を支援した。

5. 農産物の販売戦略の調査・研究に関する事業

「あぶくま農学校ブランド」の確立と消費者からの信頼を得るため、市内の農産物・加工品の販売やPR、地域のイメージアップを図った。

■角田農業のサポーター（特別会員）の加入促進

令和4年度は10,000円（A、Bコース）5,000円（C、Dコース）を設定し募集を行った。

特別会員数 134口（前年度 136口）

【Aコース】73口 8月・9月：梨

10月：朝ごはんセット（新米5キロ、梅干し、納豆、味噌）

12月：麦とろセット（新米5キロ、押し麦、長いも）

1月：角田産いちご（4パック）

【Bコース】6口 10月：新米20キロ、味噌

【Cコース】45口 10月：牛肉500g又は400g、秘伝豆800g

【Dコース】10口 10月：新米10キロ

・特別会員農産物出荷者会議

令和4年5月26日（木）、特別会員農産物出荷者会議を開催し、前年度の結果を報告するとともに、今年度の内容、特別会員事業のねらいや出荷基準及びチラシの作成等について話し合いを行った。

■あぶくま農学校「出前塾」

中止

■地場産酒米の消費拡大の支援

地場産酒米の消費拡大を進める「地酒用地場産米消費拡大推進協議会」の活動（蔵王酒造株式会社、株式会社新澤醸造店と連携したかくだ地酒の普及促進）を支援した。

取り纏め数量：臥城2本組1セット … 123セット

しぼりたて生酒えんころ2本組1セット… 122セット

牟宇姫3本組1セット … 180セット

6. 都市消費者等交流事業

食農教育の一環としての農業体験活動や農業・農村に触れる機会の少ない都市消費者との交流を通じて、農業・農村への理解と消費者意識の向上を図った。

■枝野・下目黒小学校農業体験交流（農業体験学習）

◎令和4年5月7日（土）：角田農業体験学習“春”

・参加児童等：枝野小学校児童48名（全児童）

：下目黒小学校児童14名 引率6名 教育委員会4名

・主な内容：田植え体験、あぶくま農学校入校式

◎令和4年10月1日（土）：角田農業体験学習“秋”

・参加児童等：枝野小学校児童48名（3年生以上）

：下目黒小学校児童15名 交流実行委員等10名

・主な内容：稲刈り体験、あぶくま農学校修了証書授与式

- ・主な交流内容：田植え、稲刈り体験を行い、両学校間の児童の交流を行った。また、稲刈り終了後、校庭にて枝野小学校閉校に伴う人文字作成を行いドローンでの撮影を行った。

■西根地区農業体験交流

◎令和4年10月8日(土)

- ・参加児童等：月光原小学校児童 14名 引率：4名
- ・主な内容：稲刈り体験、あぶくま農学校修了証書授与式
- ・主な交流内容：月光原小学校児童を地元で受け入れ、稲刈り体験会を実施し、地域交流を行った。

■目黒角田絆交流事業

◎令和4年10月1日(土)

- ・参加児童等：緑ヶ丘小学校長、児童および家族 計34名
- ・主な内容：稲刈り体験
- ・主な交流内容：緑ヶ丘小学校児童に JA 青年部北郷支部が指導し稲刈り体験を実施した。終了後は、稲刈り体験証明書授与式を開催するなど、交流が行われた。

■北郷小学校農業体験学習

◎令和4年5月9日(月)：角田農業体験学習“春”

- ・参加児童等：北郷小学校児童31名(5年生)
- ・主な内容：田植え体験、あぶくま農学校入校式

◎令和4年10月6日(木)：角田農業体験学習“秋”

- ・参加児童：北郷小学校児童31名(5年生)
- ・主な内容：稲刈り体験、あぶくま農学校稲刈り体験証明書授与式

■目黒区内の住区等のイベント

- ・大岡山西住区販売イベント：令和4年10月16日(日) 販売額68,700円・21品目(物品のみ)

■目黒区・角田市みどりの交流事業

目黒区が区民に配布する苗木(ムクゲほか)1,100本を、9月から12月にかけて供給した。苗木は(公財)角田市地域振興公社で育成した。

ムクゲ：102本 アジサイ：185本 ウツギ：127本 キンモクセイ：175本

ドウダンツツジ：178本 ハギ：123本 ブルーベリー：100本 アベリア：110本

■東京工業大学留学生角田農村体験交流事業の支援

事業中止

7. 事務局を担う組織・団体等

下記組織の事務局を担当し、また、構成員として参画し、提案や提言を行った。

■事務局のある組織

角田市農業青色申告会、角田市農業経営者会議、角田地域担い手育成総合支援協議会、角田市地酒用地場産米消費拡大推進協議会(おらほの美酒を育てる会)

■構成員となっている組織

角田市農業再生協議会、角田市耕作放棄地対策協議会、角田市人・農地プラン検討会
角田ずんだまつり実行委員会、生涯学習フェスティバル実行委員会